

東京電力福島原子力発電所における 事故調査・検証委員会最終報告提出式 議事録

日 時 平成 24 年 7 月 23 日（月） 14:13～14:18
場 所 大手町合同庁舎第 3 号館 1 階講堂

内閣官房東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会
事務局

○小川事務局長 ただいまから、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会の最終報告提出式を執り行います。

それでは、畑村委員長、よろしく申し上げます。

○畑村委員長 本日、東京電力福島原子力発電所の事故調査・検証委員会の検証の最終報告ができ上がりましたので、提出させていただきます。

この最終報告書は、去年の6月にこの委員会が発足して以来、1年2か月弱の活動で明らかになったことをまとめて取り扱っています。そして、この中で原子力災害が二度起こらないように、再発しないように、また、起こってしまった被害ができるだけ軽減するようになるにはどうしたらいいかというための提言を行っております。

これを提出いたしますが、政府においては、真摯な対応をしていただきたいと思っております。

随分分厚いものですが、これが本文で、これが資料編で、これが概要です。これを提出いたします。お受け取りください。

○野田内閣総理大臣 しっかりと受け取ります。

(畑村委員長より「最終報告」を野田内閣総理大臣に提出)

○小川事務局長 それでは、野田総理からごあいさつをいただきます。よろしくお願いたします。

○野田内閣総理大臣 東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会におかれましては、1年2か月にわたりまして、畑村委員長を中心に、各委員の皆様におかれましては、精力的に御活動いただき、今ちょうだいをいたしましたけれども、このたび大部の最終報告をとりまとめていただきました。改めまして、これまでの御努力、御苦勞に心から感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

政府といたしましては、しっかりこの最終報告をまずは精読をさせていただきたいと思っております。その上で、間もなく原子力規制委員会が発足をいたしますけれども、この規制委員会を中心に、二度とこのような事故が起こらないように、事故の再発防止に向けまして、万全を期して取り組んでいきたいと考えております。

先ほど、畑村委員長から「真摯に受け止めてほしい」という言葉がございました。まさに真摯に受け止めて、しっかりと対応をしていきたいと思っております。

本当にありがとうございました。

○小川事務局長 ありがとうございました。

これをもちまして、最終報告の提出式を終了いたします。

野田総理が退席されますので、皆様、御起立をお願いします。

(野田内閣総理大臣退席)

○小川事務局長 お疲れ様でございました。御着席ください。

この後でございますけれども、午後4時30分から、この場所で記者会見を行います。御出席になる委員、技術顧問の皆様は、10分前までに御参集をお願いします。

時間まで事務局の会議室でお休みになられる方は、9階にお越しいただければと思います。